

## 「仏性という人間観」

織田顕祐

1. 親鸞聖人の念仏は「如来と衆生の出遇い」
2. その出遇いを「信心」という  
信心よろこぶそのひとを  
如来とひとしとときたまう  
**大信心は仏性なり**  
仏性すなわち如来なり（『浄土和讃』聖典 p.584）
3. 「本願を信じ、念仏をもうさば仏になる」（『歎異抄』聖典 p.773）の教え  
**（凡夫が）仏になる：**  
**氷が水になる**  
→氷と水は同一でも別異でもない。これを「不二・不一不異」という  
→「氷」における「水」は有る無し（分別）を超えて本性として「有る」。けれども、今は「氷」であって今「水」なのではない。  
→これを「衆生は仏性である」（『涅槃経』）と説いた。